

会派視察・研修報告書

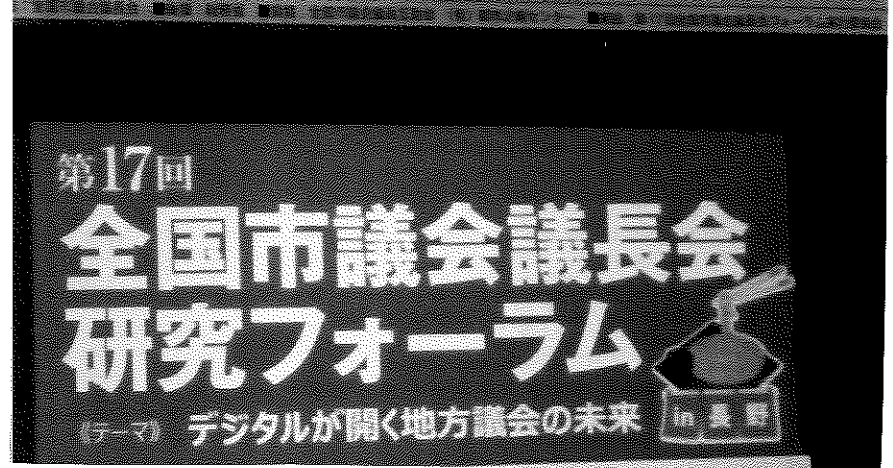
会派名 市 民 の 会

代表者名 仙石 三喜男

1 日 に ち	令和 4 年 10 月 19 日（水）～20 日（木）
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	第 17 回 全国市議会議長会研究フォーラム in 長野 主催：全国市議会議長会 会場：ホクト文化ホール
3 参 加 者	仙石 三喜男 （1 名）
4 調査・研修の テーマ	デジタルが開く地方議会の未来
5 主な内容	一部 基調講演「コロナ後の地域経済」 ✓ 二部 パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題 と将来の可能性」 ✓ 三部 課題討議「地方議会のデジタル化の取組報告」 ✓ 四部 視察「飯綱町：6 次産業化の先進的な取組と閉村した小学校の 再活用事例」 ✓
6 所感、提言事項、課 題等	【議員氏名】仙石 三喜男 今回の研修参加は、コロナ禍の中久しぶりに会派として参加予定であったが、佐藤議員が体調不良により急遽私 1 名での参加となりました。本フォーラムは 3 年ぶりの開催となり、恒例の「意見交換会」は中止となるなどまだまだコロナの影響がある中での開催でした。早くコロナが終息し、本フォーラムがフル開催され、全国の市議会議員の皆さんの研究の場となることを切に願うところです。 さて、今回のテーマ「デジタルが開く地方議会の未来」と題して、議会のデジタル化について現状の課題をどう捉え、これからどう対応をしていくことが求められるかを学ぶ良い機会となりました。 議会のデジタル化は、①コロナ禍の現象の中からか？②コロナ終息後の必要性和対応はどのような？③議員本来の求められる姿（対面による人と人の関係）や議会のデジタル化の本質や目的はどこにあるか？など先進市議会の事例や講師の発表より、理解を深めることができ議員としては参考になる研究フォーラムでした。

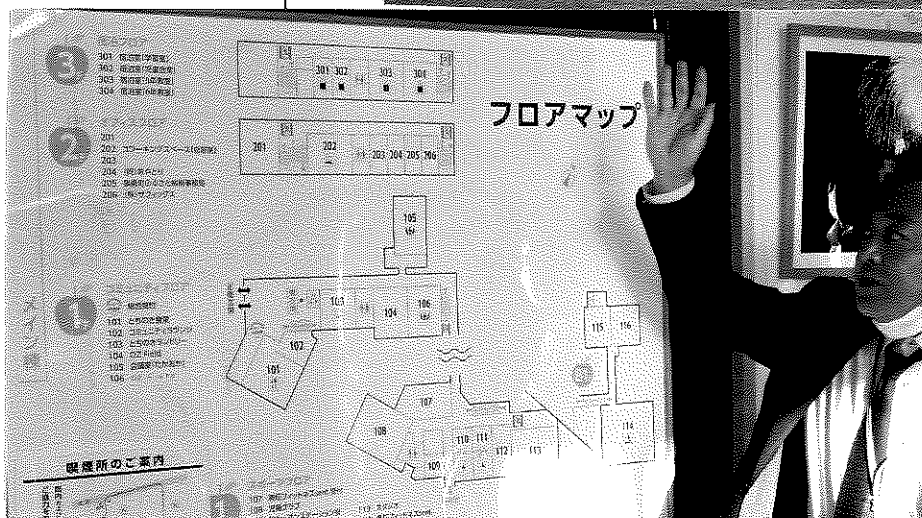
6 所感、提言事項、課題等	具体的な内容について報告します。 ①基調講演では、2020年10月よりIGPIグループ（経営協創基盤）会長、及びパナソニック社外取締役の富山和彦氏の「コロナ後の地域経営」について大変すばらしい実体験の講演をお聞きしました。まさに、企業においてもDX化を既に採用し、実施されておりその実例と成功例など参考となる内容でした。IGPIグループは、バス事業などを中心に東北を中心として全国展開をされており、日本経済復興の本丸はローカル経済圏、中堅・中小企業経済圏こそが主流との方針で、DX技術の駆使により労働生産性を向上させる。そして、働く従業員の給料も多く支払うことが求められるとのお考えで、私も同感したところです。併せ、最終的には人財につきるとの講演で、人財重視は本市の考えにも共通する経営方針で共感した基調講演でした。 ②次に、パネルディスカッションでは、3名の大学の教授と地元長野市議会議長の4名によるディスカッションで、市議会のDX化の取組状況について議論され、参考になった内容でした。DX化は、現状の課題ではあるが①コロナ禍からの派生か？②コロナ禍後を見据えての今後のためか？との視点で議論がなされました。私は、市議会のDX化は議員として求められる基本の対面による市民との接触を大切にしたいうえで、今後現実的な課題として取組む必要性を改めて認識した次第です。 特に議会のDX化を推進するための提言は、非接触型社会への対応、新デジタル人財育成等の提言も重要ではあるが、最終的には「やれることからやれば良い！まずやってみたら！」が最大のアドバイスでした。 ③2日目の課題討議は、取手市・可児市・西脇市議会の3人の議長がパネリストとして登壇され、「地方議会のデジタル化の取組の報告」について議論されました。いずれの市議会もDX化については先進的に取組まれており、多治見市議会も早急に取組む必要性をひしひしと感じさせられた内容でした。私は市議会のDX化は、ペーパーレス化程度の認識でしたが、3市議会議長の事例発表や議論より市議会のDX化の意義は、①住民福祉の向上施策の一環として捉える②行政も議会も一緒にやることが必須である③DX化を実施することにより、特に若い方への議会参画が期待でき、議会改革となる④コロナ禍のような機能不全に対して、議会としてしっかり対応が可能となる 以上意義についても正しく認識する機会となりました。 今回の研究フォーラムを受講して、DX化、ICTの活用は、ツールであることをしっかりと認識した上で、今後の多治見市議会のDX化に取組む必要性と大切さを学びました。 最後に、地元の飯綱町の先進的な取組事例を視察する日程となる研究フォーラムとなりました。 以エ
----------------------	---

17回 全国市議会議長会研究フォーラム



7 写 真 等

※視察の場合は必須、研修の場合は任意



長野県飯綱町
「中枝小学校」

※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。

※「6 所感、提言事項、課題等」は、参加者全員分を記載すること。